

令和3年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

コロナ禍で地域活動が停滞し、住民の気力体力の低下が危惧されている。引き続き地域に出むき、情報収集や共有に努め、住民間の繋がりを支えあいについて可視化していくと同時にそれぞれが抱える課題を共有し、課題解決に向けて5職種が連携し取り組みを行っていく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自主事業参加者には適宜連絡をし、参加者の状況把握に努め積極的に参加できるよう必要に応じて援助していく。 住民主体の活動に繋がるよう働きかけ、新しい社会資源創出に努める。 参加者の高齢化に伴う問題については、包括と連携を取りながら対応し、理解を得られるよう支援していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の集いなどに積極的に参加し、元気なうちから考える終活を広報して行く。第一歩として周知されつつあるエンディングノートの活用を進めるため、書き方講座を開催する。 地域向けリーフレットを活用し、より身近な成年後見制度の啓発に取り組む。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の集いに参加し地域の声を大切に、状況に応じ「今やること」「時間をかけながら取り組む必要のあるもの」と分け、包括5職種で協力して取り組んでいく。窓口相談からの情報を整理し、各職種で課題の共有をしながら社会資源を作り上げていく。認知症に対する理解者を増やし、介護をしている人が孤立することなく、安心して地域に住み続けられるようにする。ケアマネジャーに対しては、情報発信を続けていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	今ある地域の中の支えあい活動を把握し、その繋がりが途絶えないよう働きかける。また特に近隣住民同士の関係が希薄な集合住宅の多い地域については、単位町内会毎に関わりをもち実態の把握に努め、課題解決にむけて取り組んでいく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	本牧原エリアではオーラルフレイルが課題となっていることから、地域の歯科と協力し啓発していく。また、認知症の相談が多いことから、認知症に対する理解を深めることができるように支援していく。さらに、外出自粛に伴い体力の低下を自覚する高齢者が増えている。フレイルを増悪させないように、感染対策を行いながら外出の機会を増やせるように支援していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

昨年に続き、コロナ禍の状況下、地域活動が継続していけるよう新しい生活様式を踏まえた支援を行ってきた。その過程の中で新たに浮き彫りになった課題「地域活動が浸透していないこと」を解決し、住民同士が支え合える関係になることを目指し、住民と共に5職種が連携し引き続き取り組みを進めて行く。

区からのコメント

【福祉保健課】

コロナ禍が続き休止する地域活動も多い中、地域に寄り添い住民同士のつながりや住民主体による活動を支えると共に、その大切さを地道に伝えて頂きました。このような地道な関係づくりは、今後の新たな地域活動やネットワークにつながっていくことと思います。ケアプラザ内が連携し、住民に寄り添った支援を進めていくことを期待しています。

【高齢・障害支援課】

認知症の普及啓発や相談、介護予防の取組み、権利擁護の取組みなどを、地域住民やケアマネージャー等の支援者を支え、連携して取組みをしていただきました。地域包括ケアシステムの構築をすすめていくにあたり、引き続き区との密な連携・協力をお願いします。

令和3年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組めます。</p> <p>(3)館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。</p> <p>(5)包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めています。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。</p> <p>(2)所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けています。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有します。</p>
実績	<p>(1)法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めました。</p> <p>(2)法人では公正・中立の立場を重んじた斡旋、調整を行う第三者委員を設置しています。適切な苦情解決に向けての体制を整備し取り組みました。</p> <p>(3)館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。受付からは見えにくい場所に設置しました。</p> <p>(4)事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげ、またアンケート結果は館内に掲示しました。</p> <p>(5)包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所へ依頼する際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めてきました。</p>	<p>(1)介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し再発防止策を考え、職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めました。</p> <p>(2)所内会議等において、法人内の他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めました。</p> <p>(3)毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受け全職員にリスクについて意識できるよう伝達しました。</p> <p>(4)地域ケアプラザ内全職員に対し、最低年1回の「個人情報保護研修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めました。</p> <p>(5)法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中に情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有し自分ごとと捉え意識するようにしました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>(1)介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。</p> <p>(2)地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。また、社会資源(インフォーマルサービスを含む)を計画に取り込めるようにケアマネジャーにも周知していきます。</p> <p>(3)介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。</p> <p>(4)横浜市訪問型短期予防サービスを積極的に利用し、介護保険に繋がりにくい方へも援助していきます。</p> <p>(5)生活支援コーディネーターと連携し、集いの場など介護予防が行える拠点を創出していく。</p>	<p>○自立支援、認知症支援、医療連携○</p> <p>(1)在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。</p> <p>(2)ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。</p> <p>(3)退院後も在宅生活が安心して送れるように 家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。</p> <p>(4)認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々を行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。</p> <p>(5)地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用に役立てるため 生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていくよう努めます。</p> <p>(6)コロナ禍の中、感染防止対策を行いながら介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。</p>
職員体制	<p>地域包括支援センター職員…保健師 主任介護支援専門員 社会福祉士 各1名 非常勤従事者………予防プランナー 1名</p>	<p>常勤専従 4名 常勤兼務 1名 非常勤専従 1名</p>
契約者数	156件	177件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<p>【通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、プログラムがお客様の意欲の向上と残存機能の維持向上につながるよう取り組みます。三密を回避しながら季節のイベント、行事食、曜日レクリエーション、個別ニーズに合わせた機能訓練を充実させます。</p> <p>【第一号通所事業】今年度は、運動器機能向上訓練やお客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます。</p>	<p>【認知症対応型通所介護】今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら個別機能訓練を充実させ、お客様の意欲の向上と残存機能の維持向上につながるよう取り組みます。認知症の進行をゆるやかにできますよう安心できる環境作りに努めます。</p>	
実施体制	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】 〈通所介護・第一号通所介護〉34名</p>	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】 〈認知症対応型通所介護〉12名</p>	
利用料金・実費負担	<p>〈通所介護〉</p> <p>● 負担割合</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 703円 (要介護2) 829円 (要介護3) 961円 (要介護4) 1,092円 (要介護5) 1,225円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 43円 ● 中重度者ケア体制加算 49円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 1,405円 (要介護2) 1,658円 (要介護3) 1,921円 (要介護4) 2,183円 (要介護5) 2,449円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 86円 ● 中重度者ケア体制加算 97円</p>	<p>〈認知症対応型通所介護〉</p> <p>● 負担割合</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 1,080円 (要介護2) 1,197円 (要介護3) 1,315円 (要介護4) 1,432円 (要介護5) 1,550円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円 ● 入浴加算(Ⅰ) 44円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 30円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 2,159円 (要介護2) 2,394円 (要介護3) 2,629円 (要介護4) 2,864円 (要介護5) 3,099円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円 ● 入浴加算(Ⅰ) 87円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 59円</p> <p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 3,238円 (要介護2) 3,591円 (要介護3) 3,943円 (要介護4) 4,296円 (要介護5) 4,648円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 131円 ● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 88円</p>	
利用料金・実費負担	<p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 2,107円 (要介護2) 2,486円 (要介護3) 2,882円 (要介護4) 3,274円 (要介護5) 3,673円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円 ● 入浴加算(Ⅰ) 129円 ● 中重度者ケア体制加算 145円 ※ 食費負担 750円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 令和3年4月から9月30日までの間、利用単位数の1000分の1001に相当する単位数を算定します。</p>		
利用料金・実費負担	<p>〈第1号通所介護〉</p> <p>● 負担割合</p> <p>(1割負担)</p> <p>要支援1(週1回程度) 1,793円 要支援2(週1回程度) 1,793円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 26円</p> <p>要支援2(週2回程度) 3,675円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円</p> <p>● 運動器機能向上加算 242円</p> <p>(2割負担)</p> <p>要支援1(週1回程度) 3,585円 要支援2(週1回程度) 3,585円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円</p> <p>要支援2(週2回程度) 7,350円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 103円</p> <p>● 運動器機能向上加算 483円</p>		

<p>利用料金・実費負担</p>	<p>(3割負担) 要支援1(週1回程度) 5,377円 要支援2(週1回程度) 5,377円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 78円 要支援2(週2回程度) 11,025円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 155円 ● 運動器機能向上加算 724円 ※ 食費負担 750円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金※令和3年4月から9月30日までの間、利用単位数の1000分の1001に相当する単位数を算定します。が加算されます。</p>		
<p>職員体制</p>	<p><通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ29名、運転手10名、看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名 <第1号通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ29名、運転手9名 看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名</p>	<p><認知症対応型通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ14名、運転手10名、看護職員兼機能訓練指導員8名、調理員6名</p>	
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】 9,637人 【契約者数】 115人</p>	<p>【延べ利用者数】 2,389人 【契約者数】 25人</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和3年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	11,940,000		11,940,000	11,866,002	73,998	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	720,050		720,050	231,450	488,600	
雑入	129,060	0	129,060	21,120	107,940	
印刷代	87,940		87,940		87,940	
自動販売機手数料	21,120		21,120	21,120	0	
その他	20,000		20,000		20,000	
その他	5,412,000		5,412,000	5,486,159	△ 74,159	
収入合計	18,201,110	0	18,201,110	17,604,731	596,379	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,810,103	0	10,810,103	10,592,580	217,523	
本俸	8,379,286		8,379,286	8,541,633	△ 162,347	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	913,452		913,452	952,620	△ 39,168	法定福利費支出
手当計	1,253,292		1,253,292	839,956	413,336	職員諸手当・職員通勤費・非常勤職員通勤費
健康診断費	72,260		72,260	66,558	5,702	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	8,250		8,250	8,250	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	183,563		183,563	183,563	0	
その他			0		0	
事務費	2,150,303	0	2,150,303	2,177,242	△ 26,939	
旅費	3,200		3,200	949	2,251	旅費交通費
消耗品費	142,579		142,579	180,987	△ 38,408	事務消耗品費
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	122,844		122,844	94,546	28,298	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	269,738		269,738	365,918	△ 96,180	切手(運協発送用含む)、はがき、宅急便、電話料金、NHK受信料、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	66,700	△ 45,580	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0	45,580	△ 45,580	加湿器レンタル
備品購入費			0	45,830	△ 45,830	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	16,188		16,188	15,912	276	傷害賠償保険他
職員等研修費	8,037		8,037	1,545	6,492	研修研究費
振込手数料	13,978		13,978	15,500	△ 1,522	振込手数料
リース料	479,560		479,560	361,219	118,341	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	21,450		21,450	21,786	△ 336	EBサービス手数料等
地域協力費			0		0	
その他	1,051,609		1,051,609	1,006,350	45,259	玄関マット、トイレ芳香剤、給与計算委託、入札委託料、ガソリン代、諸会費、パソコン保守料・産業医、施設パンフレット、広報誌、自転車修理、ADサーバ運用保守等
事業費	1,193,613	0	1,193,613	601,309	592,304	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,151,613		1,151,613	601,309	550,304	
その他			0		0	
管理費	6,696,082	0	6,696,082	6,335,740	360,342	
光熱水費	3,772,725		3,772,725	3,828,880	△ 56,155	
清掃費	2,239,650		2,239,650	1,799,261	440,389	
機械警備費	118,253		118,253	118,254	△ 1	機械警備費委託料
設備保全費	437,048	0	437,048	451,271	△ 14,223	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	97,617		97,617	85,176	12,441	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	339,431		339,431	366,095	△ 26,664	エレベーター保守・植栽管理・冷温水発生装置不着火調査料
共益費	128,406		128,406	138,074	△ 9,668	ゴミ処理費用
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	400,002	73,998	予算:指定額
公租公課	960,441	0	960,441	1,295	959,146	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税	1,393		1,393	1,295	98	
その他			0		0	
その他	△ 4,083,432		△ 4,083,432		△ 4,083,432	
支出合計	18,201,110	0	18,201,110	20,108,168	△ 1,907,058	
差引	0	0	0	△ 2,503,437	2,503,437	

自主事業費 収入	720,050	0	720,050	231,450	488,600	
自主事業費 支出	1,151,613	0	1,151,613	601,309	550,304	
自主事業 収支	△ 431,563	0	△ 431,563	△ 369,859	△ 61,704	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,880,000		22,880,000	24,154,328	△ 1,274,328	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	66,000		1,420,000	15,000	1,405,000	
雑入	0	0	0	2,442	△ 2,442	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	2,442	△ 2,442	
その他	1,420,000		1,420,000		1,420,000	
収入合計	30,322,000	0	30,322,000	30,127,770	194,230	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,502,084	0	25,502,084	24,986,395	515,689	
本俸	18,110,173		18,110,173	18,480,734	△ 370,561	職員給与・非常勤職員給与・職員賞与
社会保険料	3,212,961		3,212,961	3,268,236	△ 55,275	法定福利費支出
手当計	3,341,979		3,341,979	2,532,388	809,591	職員諸手当・職員通勤費
健康診断費	52,283		52,283	59,850	△ 7,567	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	33,750		33,750	27,750	6,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	750,938		750,938	617,437	133,501	退職給与掛金
その他			0		0	
事務費	1,874,820	0	1,874,820	2,197,263	△ 322,443	
旅費	5,000		5,000	29,286	△ 24,286	旅費交通費
消耗品費	134,365		134,365	96,554	37,811	事務消耗品費
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	81,896		81,896	64,200	17,696	インク及びパフォーマンスチャージ料
通信費	389,048		389,048	397,250	△ 8,202	切手、はがき、宅急便、電話料金、ネットワーク回線費用等
使用料及び賃借料	0	0	0	31,555	△ 31,555	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0	31,555	△ 31,555	加湿器レンタル
備品購入費			0	45,830	△ 45,830	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	32,376		32,376	31,824	552	傷害賠償保険他
職員等研修費	14,474		14,474	7,365	7,109	研修研究費
振込手数料	13,978		13,978	15,530	△ 1,552	振込手数料
リース料	323,041		323,041	437,769	△ 114,728	玄関マット、会計用サーバ等、PCリース料他
手数料	21,450		21,450	21,786	△ 336	EBサービス手数料、残高証明発行手数料他
地域協力費			0		0	
その他	859,192		859,192	1,018,314	△ 159,122	玄関マット、トイレ芳香剤、給与計算委託、入札委託料、ガソリン代、諸会費、パソコン保守料・印紙・産業医、施設パンフレット、広報誌、自転車修理、ADサー
事業費	1,193,000	0	1,193,000	916,837	276,163	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	42,597	57,403	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	151,520	2,480	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	218,720	90,280	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,779,963	0	1,779,963	1,684,178	95,785	
光熱水費	1,002,869		1,002,869	1,017,803	△ 14,934	
清掃費	595,350		595,350	478,284	117,066	
機械警備費	31,434		31,434	31,434	0	機械警備費委託料
設備保全費	116,177	0	116,177	119,956	△ 3,779	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	25,949		25,949	22,641	3,308	電気設備委託料
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	90,228		90,228	97,315	△ 7,087	エレベーター保守・植栽管理・冷温水発生装置不着火調査料
共益費	34,133		34,133	36,701	△ 2,568	ゴミ処理費用
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000	106,328	19,672	予算：指定額
公租公課	370	0	370	343	27	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	370		370	343	27	
その他			0		0	
その他	△ 154,237		△ 154,237		△ 154,237	
支出合計	30,322,000	0	30,322,000	29,891,344	430,656	
差引	0	0	0	236,426	△ 236,426	

自主事業費 収入	66,000	0	66,000	15,000	51,000	
自主事業費 支出	563,000	0	563,000	412,837	150,163	
自主事業 収支	△ 497,000	0	△ 497,000	△ 397,837	△ 99,163	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 本牧原地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,337	4,610		36,189	34,521	1,669	108,310	96,190	12,120	48,160	39,955	8,206
	その他	6,271	5,087	1,184	2,120	1,476	643	6,405	8,940	-2,536	0	525	-525
	事業・負担金収入	6,271	5,077	1,194			0	5,884	6,589	-704			0
	認定調査			0	359	103	256			0			0
	原案作成委託料			0	1,761	1,361	400			0			0
	受託事業収入			0			0		1,429	-1,429		505	-505
	補助金収入		10	-10		10	-10		222	-222		20	-20
	その他			0		2	-2	521	701	-180		1	-1
	収入合計(A)	11,608	9,697	1,911	38,309	35,997	2,312	114,715	105,131	9,584	48,160	40,480	7,680
支出	人件費	667	760	-92	31,495	28,500	2,995	83,215	88,125	-4,910	37,288	34,859	2,429
	事務費	1,726	1,598	129	2,161	1,967	194	5,489	7,295	-1,805	2,189	2,779	-590
	事業費	13	28	-16	87	87	1	9,530	8,582	949	2,985	3,389	-404
	管理費	0	0	0	0	0	0	7,685	6,494	1,191	2,234	1,755	479
	その他	7,977	6,465	1,512	0	157	-157	446	685	-238	0	55	-55
	利用者負担軽減額			0			0		24	-24			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	7,977	6,430	1,547			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
その他		35	-35		157	-157	446	661	-215		55	-55	
支出合計(B)	10,383	8,851	1,533	33,743	30,710	3,033	106,366	111,181	-4,814	44,696	42,837	1,859	
収支 (A) - (B)	1,225	846	379	4,566	5,287	-721	8,349	-6,050	14,399	3,465	-2,357	5,821	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ふれあいサロン潮風	平成15年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	閉じこもり防止と仲間作りの支援。要援護者の発掘。事業運営や体操の担い手ボランティアの育成。	1:高齢者	5	地域の高齢者を対象にした仲間づくりのサロン。毎月第1木曜日13時～に実施。歌と脳トレを取り入れた音楽レクリエーションを中心に毎月ボランティアの協力でプログラムを提供する。	10	111
2	ペタンクルー	平成16年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	継続的に事業を行うことで、転倒骨折を予防する。仲間づくりを支援する。	1:高齢者	2、5	第1、3月曜日13時30分体操とグループに分かれペタンクゲームを楽しむ	14	134
3	シルバー健康体操	平成12年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体操についていけなくなった方を包括と連携し、フォローする。	1:高齢者	5	65歳以上の高齢者を対象としたリズム体操教室。毎月第1.3金曜日9:30～、10:30～に実施。	21	362
4	のびのび元気体操	平成27年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体操についていけなくなった方を包括と連携し、フォローする。	1:高齢者	5	65歳以上の体操教室。ラジオ体操やマットを使用したストレッチ体操などを行う。第1、3水曜日9:30～、10:30～毎月第1.3水曜日に実施。	19	212
5	健脳体操1、2	平成16年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。	5:地域	1	年齢問わずどなたでも参加できる体操教室。脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。YMCAに講師を依頼。毎月第2.4木曜日13:00～、14:15～に実施。自主グループは第3木曜日に活動中。	21	432
6	シニアリトミック	平成29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	運動不足を解消し、継続的に事業を行うことで、仲間づくりの場を提供する。体、頭、心を同時に使って音楽のゲームを楽しむことで脳の活性化を図る。	5:地域	1	毎月第4月曜日13:30に実施。講師によるリトミック講座。	10	103

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	脳イキイキ教室	平成18年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	定期的な事業参加のための外出や読み書き計算により認知症の予防をはかる。歓談コーナーを設け、仲間づくりを支援する。教室の卒業生はイキイキサロンへお誘いする。	5：地域	1	くもん教材を使用、毎週木曜日10時～、10時40分～ 2クラス実施 各40分	51	500
8	レコードを聴く会	平成28年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	男性の外出や仲間づくりのきっかけを提供し、地域にいる新たな担い手をカフェの運営ボランティアへとつなげる。	5：地域		地域の方に寄附していただいたレコードを聴きながら、コーヒーを楽しんでいただく。毎月第1水曜日に実施。参加者によるリクエストも可能。男性のみを対象とし、女性は男性と一緒にであれば参加可能。	7	17
9	男の料理教室	平成20年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	男性の家事の自立支援と健康意識の向上をはかる。配食ボランティアの育成。	5：地域		和洋中の各種メニューをとりまぜ、様々な料理に挑戦する。毎月、第2日曜日に実施。参加者がグループに分かれて調理を行い、完成した料理を講師を含めて会食する。毎回、講師と参加者で次回、挑戦するレシピを考える。	1	16
10	子育てサロン	平成15年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て中の親子がリフレッシュするとともに、育児の情報交換や仲間づくりの場を提供する。育児不安解消	3：養育者及び乳幼児	2、5	子育て中の親子が集うサロン。毎月第3火曜日に実施。基本的に自由遊びだが、年に数回地域のボランティアによる読み聞かせを実施。地域の民生委員・児童委員や主任児童委員、保健活動推進員協力で実施。	8	169
11	SONGS	令和3年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	高齢者の出かける機会とする。オーラルケア仲間づくり	5：地域		毎月第4金曜日13時～アコーディオン演奏に合わせて昔懐かしい歌をうたう。	7	132

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	手話ダンス	令和3年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	6月12日に実施されるインクルーシブイベントで手話ダンス発表に向けて、楽しく歌を手話で表現する。障碍の有無にかかわらず共に楽しく過ごす。	5：地域	2	手話ダンスサークル講師により5月より歌にあわせて楽しく気楽に手話で歌を表現。	4	45
13	ぶらりHONMOKU	令和3年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地元にある施設を知りその利用方法や活動内容を理解する。地元で楽しむことを発見して地元にあふれを持つ。運動不足解消、健康づくりの一助とする。	5：地域		令和3年5月10日(月)～7月6日(月)実施。本牧地区センター、大鳥コミュニティハウスと企画共催。スタンプラリーポイント協力は15施設。	1	110
14	リズムファイト	令和3年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	子育て世代ケアプラザを知るきっかけとする。運動不足の解消や心身をリフレッシュする。子育て世代の仲間づくりの場を提供する。	5：地域		音楽にあわせてボクシングの動きである、パンチやキックを取り入れた運動、月1回5月	2	4
15	ハローウィン	令和3年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の子育て世代や、子どもたちに地域の施設を知ってもらおう。地域施設と連携を図り互いの強みを生かす。	4：子ども・青少年	2、3	10月末日		
16	文化祭	令和3年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	サークル団体の活動の発表の場とする。活動のモチベーション向上。他の団体の活動をしる。団体間の交流の機会とする。	5：地域	6、7	11月下旬1週間		
17	3館合同作品展	令和2年	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	各施設で活動する団体の発表の場とする。活動のモチベーション向上。地域の方に各施設で活動する団体を知っていただき、各施設を広く知っていただく。	5：地域		1月中旬から2月初旬、イオン本牧店3階催事係にて展示	1	220

■ 事業 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3) 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1 : 優先的に取り組みが求められる事業 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者 7 : その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	認知症講座	令和3年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の症状を理解し、その対応の仕方を学び 認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう あたたかい見守りができる地域を目指す。	5:地域	6、7			
19	はらっぱ うたごえ CLUB	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大により交流する機会が縮小されている中、「3つの密」を避けながら自宅でも個人でも可能な歌を歌うことで、ストレス発散と健康維持に取り組むことを目的とする。	1:高齢者	5	地域のFM放送局を活用し、歌番組を流す。	12	0
20	HOMMOKUBASE げんきCLUB	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	利便性のよいところに新たな集いの場を設置。介護保険サービス適用外の高齢者の受け皿となる活動のひとつとする。	1:高齢者		座位で行う介護予防体操。 毎月第4火曜日13:00~14:00開催。	7	25
21	コミュニケーション支援者養成講座	令和3年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	脳卒中(脳梗塞、脳出血・クモ膜下出血)後遺症である失語症の方のサポートの経験から、失語症の方を取り巻く現状について知り、支援者が不足していることがわかった。失語症の基礎知識やコミュニケーションの技術を学び、積極的に社会参加できるよう支援する。	5:地域		失語症の基礎知識を学ぶと同時にコミュニケーションの取り方を学ぶ。	2	49
22	終活講座	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	お元気な今のうちから考える終活。先の事を考えてご自身の人生を豊かに過ごしていただくため、今から出来る事を啓発していく。	1:高齢者		中区で作成したエンディングノートの書き方DVDの上映会と、終活相談会を同時に開催する。	1	24